

総務常任委員会

日時 令和7年5月13日(火)~15日(木)



詳細はこちら

神奈川県小田原市

「移住・定住施策の取り組みについて、ふるさと納税について」

小田原市は、移住希望者向けオンラインコミュニティ「オダワラボ コミュニティ」を開設し、移住についての相談や困りごとに対して、先輩移住者等と気軽に相談や情報交換ができる場となっています。また紹介者と移住者の双方にインセンティブを付与する移住制度を作り、着実に効果が出ています。

感想

実際に移住・定住し、生活する上で一番重要となるコミュニティ・人とのつながりの部分を強化していくことはとても大切な視点であると感じました。



小田原ブック

静岡県富士市

「DX・テレワーク推進事業と新富士駅シェアオフィスについて」



フリーアドレス化された富士市役所5階

富士市は、基幹産業である製造業のテレワーク化が課題でしたが、これをチャンスと捉え、「テレワーク先進都市」の実現を目指し、市内事業所のテレワーク導入促進やテレワークを実施する企業の誘致、テレワーカーの受け入れ等に繋げるため「富士市テレワーク推進ロードマップ」を策定しました。

感想

- ①多様な働き方を展開することで「働き手」を獲得する
 - ②可能な限りDX化を行い、少人数で運営を維持できる企業を確立させる
- 2つの効果があると感じました。



静岡県沼津市

「沼津市リノベーションまちづくりについて」

沼津市は、「リノベーションまちづくり推進ガイドライン」を策定し取り組んできた結果、これまでに多くの事業が創出され、地域の活性化や魅力向上に繋がっています。公共施設をリノベーションした泊まれる公園「INN THE PARK 沼津」の現地調査を行いました。

感想

公民連携型リノベーション活動は、民間主動により進めることが成功の鍵であると理解を深めることができました。



INN THE PARK 沼津

文教厚生常任委員会

日時 令和7年5月14日(水)～16日(金)



詳細はこちら

サイバーデザイン 📍 茨城県つくば市 「装着型サイボグの介護補助体験について」

CYBERDYNE(株)のHAL®(Hybrid Assistive Limb®)は、身体機能を改善することができる世界初の装着型サイボグです。HAL®を腰部に装着し、動作アシストを体験しました。



装着型サイボグ HAL®

感想 当市でも、フレイル予防の体操用や、脳梗塞等の後遺症からのリハビリ用、介護現場での腰痛防止として、導入の検討を積極的に行ってほしいと感じました。

📍 茨城県鹿嶋市 「いきいきゆめプール(学校用プールと市民プールを兼ねた屋内温水プール)について」



いきいきゆめプール

いきいきゆめプールは、平日の午前中に市内小中学校の水泳授業を行い、土・日曜日や平日の午後に市民プールとして活用する屋内温水プールです。今後市に建設される屋内温水プールの参考として視察を行いました。

感想 建設や運営方法など、学校プール兼用の屋内温水プールの建設に向けた課題の参考となりました。

📍 千葉県松戸市 「こども誰でも通園制度について」

国が令和8年4月の本格実施を目指している「こども誰でも通園制度」について、松戸市では5つの保育所等の施設で実施しています。当市では9月に実施を予定しているため、先進地の視察を行いました。



感想 保育士確保の対策やアレルギーのある子への具体的な対応など、大変参考になりました。



F・マリノススポーツパーク

📍 神奈川県横須賀市 「横浜F・マリノスと地域の連携について」

横須賀市では、「横浜F・マリノス」と連携した取り組みや、「よこすかの街をトリコロールに」など地域が一体となって応援する街づくりを行っています。栃木SCとの地域連携の参考事例として視察を行いました。

感想 消防団詰所をマリノスカラーで壁面塗装するなど、地域が一体となって応援する街づくりを感じました。

建設経済常任委員会

日時 令和7年5月14日(水)～16日(金)



詳細はこちら

📍 宮城県石巻市 「道の駅上品の郷について」

道の駅上品の郷は、じゃらん道の駅の満足度ランキング「全国道の駅グランプリ2022」で全国第2位を獲得しました。宮城県の道の駅では唯一の温泉保養施設があり、非日常の癒しと安らぎの空間と日常の食に関するこだわりの農産物の提供に取り組んでいます。



感想 「道の駅きつれがわ」の運営に活かしたいと感じました。



JA大曲厚生医療センター(地域中核病院)

📍 秋田県大仙市 「大曲駅前開発について」

大仙市では、都市機能集約による人口減少社会に適応したまちづくりに取り組んでいます。JR大曲駅前に地域中核病院、子育て支援施設等の都市機能を集約し、新たな人の流れを創出しています。



感想 事業費補助金(支援金)の獲得など、本市の政策に活かしたいです。

📍 宮城県企業局 「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」について

全国的に水道事業においては、人口減少による収入減、技術人材確保、老朽化による更新費用の増大等、厳しい経営環境となっています。宮城県企業局では、それらの課題について、効率化を図るだけでは将来の料金上昇は避けられないと考え、持続可能な水道経営を確立するため、「官民連携」により民の力を最大限活用した「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を令和4年4月から始めました。



感想 規模は全く違いますが、先進モデルとして本市の上下水道事業に活かしたいです。